

平成31 (2019)年度

事業計画

学校法人 工学院大学

2019年度事業計画

< I. 大学・大学院 >

1. 21世紀型の工学教育の実践とその改革

1.1 21世紀型の工学教育プログラムの推進

- (1) 先進工学部新専攻(航空理工学専攻・宇宙理工学専攻)の開設
- (2) 内部質保証システムによる教育成果の評価と改善
- (3) 学部・学科横断型の教育研究活動の推進

1.2 国際・教養・キャリア教育(科目)の整備、強化

- (1) コミュニケーション能力を高める英語教育の強化
- (2) ハイブリッド留学発展型プログラムの展開
- (3) インターンシップの拡充(企業:低学年、研究:海外)

1.3 大学院の拡充

- (1) 6年一貫教育の先行導入など、進学への奨励
- (2) 教育体系やカリキュラムの一層の整備

1.4 学生支援プログラムの一層の充実

- (1) 学生プロジェクト、オリンピックボランティアなど、正課外活動への参加学生のサポート強化
- (2) 学生の安全管理教育の推進
- (3) 就職支援サービスと機能の充実

2. 研究活動の戦略的な発展

2.1 イノベーションの創発を推進する取組

- (1) 共生工学センターなどにおける研究拠点の構築

2.2 研究分野におけるパートナーシップの拡大

- (1) 医薬工連携協定に基づく共同研究の推進
- (2) 産学共同センターなどの活用による共同研究の推進
- (3) 海外機関との共同研究の推進

2.3 研究力の発信と社会連携の増進

- (1) 各種プロジェクトなど、研究成果の積極的発信

2.4 研究及び実験環境の充実

- (1) 安全・清潔な研究・実験環境の整備

3. キャンパス、教育・研究環境の整備

3.1 新宿・八王子の地の利、戦略性を生かした教育・研究環境の整備

- (1) 新宿キャンパスにおける制震・リニューアルに向けた改修計画の策定

3.2 ダイバーシティに対応した学び、働きやすい環境

- (1) ダイバーシティの時代に対応した学生支援、サービス、設備の充実

3.3 ITの活用などによる情報環境のグレードアップ

- (1) 21世紀型工学教育プログラムを支える情報環境・体制の整備

3.4 施設・設備の安全管理の徹底

- (1) 施設・設備インスペクションの継続実施

<Ⅱ. 附属中高>

1. 変容するグローバル社会で活躍できる人材の育成

1.1 21世紀型教育の進化と深化

- (1) 独自のルーブリック「思考コード」を基準とした「PBL型授業・テスト・評価」の実践
- (2) Global 3.0教育の再確認
- (3) CEFR基準でC1を目指せる英語力育成環境の確立
- (4) グローバルプロジェクトへの生徒の積極的参加
- (5) 「探究論文」への取り組みを通じた科学的思考の涵養

1.2 「工学院」ならではの理数教育の充実

- (1) 中学ハイブリッド3クラス、高校ハイブリッド4コースの更なる充実
- (2) STEAM教育実践のための大学との連携強化
- (3) 数学教育の更なる強化
- (4) プログラミング教育の構築と運用

1.3 進学指導の充実・強化

- (1) 内部進学のための理数教育の強化と進学奨励
- (2) 難関国公立大学への受験指導の強化
- (3) 海外大学への進学準備教育の充実

2. キャンパス、教育環境の整備

2.1 大学キャンパスを活用した中高教育の実施

- (1) 八王子及び新宿キャンパスにおける中高教育の実践
- (2) Fabスペースの活用など、創造的思考を育成する「ものづくり」プログラムの構築と運用
- (3) STEAM教育実践のための学園施設・設備の有効活用

2.2 ICT環境の充実

- (1) PBL型授業の質向上のためのICTの有効活用

<Ⅲ. 学園全体>

1. 経済社会のグローバル化への対応

- (1) 「ハイブリッド留学(大学)やグローバルプロジェクト(中高)」など、国際舞台で活躍できる21世紀型ものづくり人材の育成
- (2) 国際交流センターの設置の検討・準備
- (3) 国際交流プログラム及びネットワークを活用した留学生支援の充実

2. パートナーシップ(社会連携)の拡充

- (1) 地方創生の一環として地方企業への就職促進
- (2) 「大学コンソーシアム八王子、TKK3大学連携プロジェクト、医薬工連携プロジェクト」など、国内大学との連携強化
- (3) 「SSH指定校」など、高大連携の強化
- (4) 世界の優れた大学(工科系大学、理工系学部)との連携拡大
- (5) 「生涯メールアドレスの活用」など、卒業生・校友会との連携強化及びそのための学園内の体制整備

3. 社会貢献

- (1) 地域環境問題、SDGs(持続可能な開発目標)への貢献
- (2) 共生工学(ジェロンテクノロジー)分野の研究活動の立ち上げ
- (3) 「科学教室」など、科学技術の普及事業の実施

- (4) 「西新宿、八王子中野・犬目地区」など、キャンパス周辺地域との連携による地域の活性化
- (5) 優秀な留学生の受け入れと支援

4. 優れたガバナンスと教職員一体による簡素で合理的・効率的な組織・事務運営

- (1) 私立学校法などの法改正に応じたガバナンス体制の整備
- (2) 業務の効率化を目指した事務組織の整備
- (3) 事務の簡素・合理・標準化に向けた新事務システムの導入
- (4) 学園の情報資産としてのデータ有効活用の推進

5. 将来への投資

- (1) 投資計画に基づく教育・研究環境整備への重点的な投資の実施
- (2) 健全で堅固な財務基盤の確保

6. 積極的な発信

- (1) WEB(新HPやSNS)戦略を軸とした発信力の更なる強化
- (2) ソーラーチーム世界大会参加への支援の強化
- (3) 「学生プロジェクト」など、学生アクティビティの発信力強化
- (4) インナーコミュニケーションの促進・強化